

## 会 議 録

会議名称	第4期幸区区民会議 第10回専門部会（みんなで見守りたい）
日時	平成25年10月30日（水）18時30分～20時
会場	幸区役所 5階第3会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（50音順） 神谷美和委員、古場敏光委員（部会長）、酒井清委員、鈴木忠夫委員、鈴木都委員、戸張一吉委員、原紀代子委員、檜林照江委員、春田公江委員、村田清子委員（副部会長）、遊佐栄津子委員</li> <li>●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村健二課長、加藤剛史係長、早川智文担当 株式会社計画技術研究所 須永和久</li> <li>●関連課 地域保健福祉課 中谷明美課長、高齢・障害課 大城敬子係長</li> </ul>
欠席者	0名
傍聴者	1名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●議事次第</li> <li>●資料1 地域包括支援センター インタビュー調査結果（案）</li> <li>●資料2 区民会議提言案</li> <li>●資料3 ひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動の促進に向けた冊子の作成のあり方（案）</li> <li>●資料4 第4期幸区区民会議フォーラム実施概要（案）</li> <li>●資料5 「第4期幸区区民会議」スケジュール（案）</li> <li>●参考 第4期幸区区民会議報告書 構成イメージ案</li> </ul>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インタビューの実施結果について</li> <li>2 提言内容等について</li> <li>3 区民会議フォーラムの実施内容について</li> <li>4 今後のスケジュールについて</li> <li>5 その他</li> </ol>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域包括支援センターについては、様々な方法で認知度を高めていくことが必要であり、そのことを報告書に掲載していく。</li> <li>●高齢者の定義については、部会の検討の中では「概ね75才以上」をイメージしてきたことを記述すると同時に、見守りの対象は年齢で区切るものではないということも併せて示す必要がある。</li> </ul>
会議の内容及び主な発言	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インタビューの実施結果について 【主な意見・質疑応答】 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域包括支援センターは、一般の人にとっては認知度が低いのでアピールしていく必要がある。施設の存在を知らしめていくことが重要だと思う。</li> <li>●地域包括支援センターには、3つの職種（社会福祉士、主任介護支援専門員及び保健師）の人がいることなどがわかった。認知度については、存在</li> </ul> </li> </ol>

をアピールするためのツール・媒体をうまく活用してはどうかと思った。

- 地域包括支援センターは知名度が低く、高齢者が困った時に電話をかけることはほとんどない。民生委員から電話をかけ、高齢者と地域包括支援センターをつなぐことが多い。
- 地域包括支援センターは、ワンストップサービスで関係機関につないでくれる所なので、まず高齢者が地域包括支援センターに辿り着けるような仕掛けを作ればよいと思う。マニュアルに地域包括支援センターの連絡先を記載し、そちらに電話をかけて欲しいということを伝えていく必要がある。
- 地域包括支援センターから関係機関への連絡がスムーズにいくようにする工夫が必要になる。
- 横浜市では、ケアプラザと地域包括支援センターが一体となっていて、コンサートなど地域の人に来てもらえるよう様々な取組を行っている。川崎市では、特別養護老人ホームの一部に地域包括支援センターがある場合が多く、地域に密着しきれていないところがあるのではないかと思う。  
→平成 18 年に地域包括支援センターができて以来、たびたび、地域に積極的に出向いて欲しいということは言ってきた。また、実際に地域に出向いてもいるように見受けられる。
- 地域包括支援センターについては、様々な方法で認知度を高めていくことが必要だと思う。そのことを報告書に載せていく必要がある。

## 2 提言内容等について

- とても分かりやすくまとまっている。
- この部会における検討の中では、高齢者の定義として「概ね 75 才以上」をイメージしてきたが、そのことも書いていく必要があるのではないか。
- 高齢者の定義については、一般に「65 才以上」というのが多いが、部会では「75 才以上」をイメージしてきたということを示すのは良いのではないか。「概ね 75 才以上」などの表現にしてはどうか。
- 部会の検討では、「概ね 75 才以上」をイメージしてきたが、同時に、見守りの対象は一律に年齢で区切るものではないという理解で良いか。  
→それで良い。

## 3 区民会議フォーラムの実施内容について

- 前回の参加者はどれくらいだったのか。  
→約 120 名の参加があった。
- 「こどもの自転車標語」については、区民会議の審議を踏まえて、子どもネットワーク会議で募集しようとしている。そこで、区民会議フォーラムで表彰することを考えているがどう思うか。  
→良いと思う。
- パネラー（有識者）については、現場の声を届けられる人が良いと思い、

そのような観点から候補を上げている。このような考え方で良いか。  
→良い。

**4 今後のスケジュールについて**

- 次回の部会は12月11日（水）に開催
- 区民会議交流会は平成26年1月22日（水）に開催

以上